

令和3年度 いみず学生アイデアコンテスト実施要領

1 目的

- ・ 学生の意見を生かした市政を推進するため、学生からの提案を募集する。
- ・ 学生が市に対し政策を提案することにより、地域が抱える課題について理解を深め、自分自身の研究、就業、人生設計について考える機会とする。

2 テーマ

(1) 射水市から提案を募集する地域課題

別紙資料のとおり(まちづくり、UIJターンの促進、市政の情報発信力の強化、商店街の活性化、観光振興、生活環境整備など)

(2) フリーテーマ

学生が自ら射水市について調査した内容に基づいた課題

いずれの課題を選択された場合でも、市役所の担当部局から必要に応じて資料など情報提供することが可能

3 応募資格

高等教育機関(大学、短期大学、高等専門学校、専門学校等)に在学する学生グループ(ゼミ、サークル等)、個人どちらでも可

4 応募方法

(1) 応募受付期間

令和3年11月1日(月)～11月30日(火)

(2) 提出書類

以下の書類を電子メールで提出する。(データ容量が大きい場合は、その旨をメールにて連絡すること。ファイル転送サービスの利用について事務局より案内する。)

企画提案書(様式第1号)

提案者調書(様式第2号)

その他参考となる資料

(3) 応募書類の提出、問い合わせ先

射水市企画管理部政策推進課

〒939-0294 射水市新開発410番地1

電話: 0766-51-6612 FAX: 0766-51-6646

E-mail: seisaku@city.imizu.lg.jp

5 提案審査

(1) 審査会

提案内容に対して事前に書類審査を行い、上位複数組の提案についてアイデアコンテスト（プレゼンテーション審査会）を公開で実施する。

日時：令和4年1月中旬（予定）

場所：浦山学園USP又は射水市役所（予定）

- ・ 審査会は公開で実施する。
- ・ 発表時間は15分とする。
- ・ 優秀な提案について表彰する。
- ・ 審査会プログラムに発表者のグループ名及び氏名を掲載し、公表する。

開催方法については、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて、オンラインによるWEB開催も検討する。

(2) 審査基準

- ・ 独創性があるか
- ・ 本市の現状分析が的確になされているか
- ・ 提案内容について、有効性、実現性、費用対効果を踏まえたものになっているか

6 提案の活用

優秀な提案は、次年度以降の実施に向けて検討する。

7 その他

提案内容、審査会などは原則として、市のホームページなどで公開する。

令和3年度いみず学生アイデアコンテスト 地域課題一覧

	課 題	課題の概要	問合せ先	問い合わせ 電話番号
1	学生が参画しやすいまちづくりについて	射水市では、学生が参画するまちづくりを推進しています。学生の意見を市政に反映するためにはどのようにすればよいか、提案してください。	政策推進課 企画調整係	51-6612
2	小杉駅周辺地区のまちづくりについて	小杉駅やその周辺地区は、通学経路のひとつとして多くの学生の皆さんに利用されていますが、駅周辺の賑わいが乏しい状況です。そこで、学生の皆さんが駅に集い、周辺を散策できるようなまちづくりを進めるにあたって、課題と解決策を提案してください。	政策推進課 企画調整係	51-6612
3	地域との継続的な関係を持つ人口の創出について	一時的な観光のみの関係にとどまらず、地域と長期的につながりを持つ人材を確保するためにはどのような仕組みがあればよいか、提案してください。	政策推進課 企画調整係	51-6612
4	U I J ターンの促進策について	射水市の人口動態を見ると、若い世代の首都圏等への転出が多く、人口減少の大きな要因となっています。社会移動をプラスに転換するには、こうした若い世代のUターンと、市内に居住する県外学生の定住化の取組が極めて重要になると考えています。「射水に戻りたい、住み続けたい」と思われるような方策を提案してください。	未来創造課 定住・交流促進係	51-6614
5	SNS等を活用した市のイメージアップ及び情報発信力の強化について	射水市では、市公式Vチューバーの『いみず雫』がYouTubeやインスタグラムを通して市の魅力や情報を発信しています。また、市LINE公式アカウントを開設し、幅広い世代の方々に情報発信する取り組みも始めたところです。 普段からSNSを活用している学生の皆さんに、いみず雫の認知度の向上や、SNSの新たな活用方法など、市のイメージアップや情報発信力の強化につながるような取り組みを提案してください。	未来創造課 広報統計係	51-6614
6	若者の選挙投票率の向上について	若者の投票率は低い傾向にあり、期日前投票など生活の多様化にあわせて様々な制度が導入され、利便性の向上などに取り組んで来ましたが、学生の皆さんの視点で一般有権者、特に若者が投票に行こうと思えるような方策を提案してください。	選挙管理委員会 総務課総務・法規係	51-6640 51-6615
7	広告料収入の確保について	新たな財源を確保するため、有料広告の媒体及び掲載事業者の拡充方法を提案してください。	財政課 資金・調査係	51-6616
8	公共施設複合化等のアイデアについて	少子高齢化を伴う人口減少社会、また厳しさを増す財政状況を踏まえ、射水市では公共施設の総延床面積を2055年までに77,820㎡（20%）削減する目標を掲げています。その実現には、異種施設の複合化や民間資金の活用が求められています。皆さんが考える公共施設複合化等のアイデアを提案してください。	資産経営課 公共施設マネジメント推進班	51-6617

9	障がい者への理解について	障がい者の中にはコミュニケーションがとりにくい方がおられ、地域行事への参加が難しいと言われてしています。しかし、地域の方々の理解により社会参加が可能となります。障害特性や合理的配慮に対する理解促進や地域との交流・ふれあい活動に繋がるような提案をお願いします。	社会福祉課 障がい福祉係	51-6626
10	商店街の活性化について	商店街は、かつて「地域の顔」として賑わいをみせていましたが、後継者不足や郊外型店舗等の影響により、商店の廃業が相次ぎ、今ではかつての賑わいが失われつつあります。商店街に依存してきた地域の高齢者等の交通弱者は、日頃の買い物に困難となるなど、市民生活にも支障をきたしていることから、商店街の活性化は、早急に取り組むべき課題であると考えています。商店街が賑わいを取り戻し、また、地域住民が元気に生活を送れるような取組を提案してください。	商工企業立地課 商工労政係	51-6675
11	中小企業振興の在り方について	射水市の経済は、99%以上を占める中小企業によって支えられており、その振興策は市の発展を図るうえでも重要な課題となっています。しかし近年は、人口減少や少子高齢化、インターネット取引の増加など、社会的・経済的環境が大きく変化しており、中小企業は、販路確保、人材確保、後継者の確保、設備投資など、様々な面で厳しい状況に置かれています。中小企業振興のためにどのような取組が有効であるか、提案してください。	商工企業立地課 商工労政係	51-6675
12	新しい時代の働き方、人材確保について	近年、仕事と家庭の両立を図り生産性の向上を目指す「ワーク・ライフ・バランス」の実現に向けた取組が積極的に進められ、また、兼業・副業を認める動きも大企業を中心に進められています。加えて、今般の新型コロナウイルス感染症の影響により、外出の自粛や休業要請が行われたことにより、テレワークや在宅勤務への動きも急速に加速しています。このように、市民の働き方や企業の人材確保のあり方は、大きな変革時期を迎えているといえます。（しかし、地方では副業の考え方自体が浸透していないのが現状） 今後、市民にとって、そして企業にとって、どのような働き方・人材確保のあり方が良いのか、副業・兼業の人材マッチング等の手法も踏まえて提案してください。	商工企業立地課 商工労政係	51-6675
13	ビジネスマンや学生等のコワーキング施設について	射水市では、駅周辺や公共施設の空きスペースでコワーキング施設などの設置を検討しています。その際、単なるワークスペースを設置するだけでなく、学生同士や学生とビジネスマンが交流できる機能があれば面白いと考えていますが、交流機能の他にどのような機能があれば利用したいか提案してください。	商工企業立地課 商工労政係	51-6675
14	市街地の活性化について	新湊地区市街地や小杉駅前周辺地域において、賑わい創出（イベント等）により、地域活性化につながるような方策を提案してください。	港湾・観光課観光振興係	51-6676

15	観光周遊コースについて	射水市には、魅力ある観光資源が多くありますが、宿泊施設が少なく、通過型観光の傾向があります。そこで、滞在時間を延ばせるよう、若者目線でのテーマやターゲットを明確にした観光周遊コースを提案してください。また、そのPR方法についても併せて提案してください。	港湾・観光課 観光振興係	51-6676
16	効果的なノベルティの考案について	射水市では、県内外でイベントや物産展に参加しPRを行っています。その際に射水市を知ってもらえるきっかけとしてカニの風船やポケットティッシュ等のノベルティを配布していますが、若者の皆さんにも好評いただける、安価で効果のあるノベルティグッズやインスタ映える写真を活用したグッズなどを考案してください。	港湾・観光課 観光振興係	51-6676
17	SNSを活用した観光情報の発信について	射水市では「ムズムズくん」のSNSアカウントを使用し、情報発信を行っています。より多くの方にフォローいただけるような、効果的なSNSの発信方法を提案してください。	港湾・観光課 観光振興係	51-6676
18	射水ベイエリアの活性化について	射水ベイエリア（新湊漁港～海老江海浜公園の沿岸部）の賑わい創出のために何が足りないのかを整理していただき、その不足を補うためのアイデアをハード・ソフト問わず提案してください。 提案は、ベイエリア内及びベイエリア周辺（内川周辺やクロスベイ新湊など）の既存の地域資源との連携により、相乗効果を生み出すことを目指す視点をもって検討してください。	港湾・観光課 みなとまちづくり係	51-6676
19	既存の釣り可能場所の活用等による賑わいづくりについて	富山新港での魚釣りは禁止されていますが、例外的に一般開放されている場所が4箇所（開港記念碑緑地広場（越の潟町）、東港口護岸（堀岡）、南水路緑地（片口）及び東水路先端緑地（七美））があります。この「既存の釣り可能場所」を地域資源と捉えて、観光振興、釣り人と地域との交流や釣りマナーの向上などの多様な視点での地域振興につながる取組を提案してください。 なお、提案に当たっては、単にイベントなどの内容を提示するのではなく、事業を継続して取り組むためのスキームも提示してください。	港湾・観光課 みなとまちづくり係	51-6676
20	農林水産業への若者の参加について	近年、国民の食を支える1次産業である、農林水産業を営む人の高齢化が進展しています。若者が農林水産業に対し魅力的なイメージを持ち、多くの若者が参加し今後も農林水産業が持続できるような方策を提案してください。	農林水産課 農政係	51-6677
21	公園の利活用について	射水市内には、公園が約300箇所あります。太閤山ランドや歌の森運動公園、大島中央公園など大きな公園は、施設などが充実しており、利用頻度が高くなっています。しかし、各自治会にある比較的小さな公園は、主に宅地開発により作られた公園が多く、かつては、子供や親同士などが交流するコミュニティ空間として機能していましたが、少子化や塾通いなどで子供が外であまり遊ばなくなり、公園のコミュニティ機能は弱まっています。 公園に投入する維持管理費も増加する傾向にあり、各自治会にある小さな公園を今後どう利活用すればよいか提案してください。	都市計画課 整備係	51-6680

22	太閤山地区において学生が参画しやすいまちづくりについて	市では、太閤山地区において令和2年度に太閤山地区リノベーション計画を作成しました。この計画書では、学生が参画するまちづくりを推進しています。学生が地区に参画するためには、どんな取り組み方で、どのようにすればよいか、提案してください。	都市計画課 計画係	51-6680
23	下水道のPRについて	射水市では下水道事業に興味を持っていただくため、マンホールカードを発行しています。下水道は私たちの暮らしを支えるライフラインではありますが、普段の生活で目にする機会は少なく、まだまだ住民の方々の下水道への関心は薄いように思われます。下水道により関心を持ってもらえるようなPR手法や内容を提案してください。	下水道工務課 下水道維持・普及係	84-9648
24	「あったか家族応援プロジェクト事業」の提案について	本市では、「あったか家族の愛ことば 家族いっしょに 食事・おしゃべり・お手伝い」を合言葉に、「あったか家族」の普及を目指しています。あったか家族を応援する様々な活動が市内に広がるような取組を提案してください。	生涯学習・スポーツ課 生涯学習係	51-6637
25	若い女性の運動・スポーツ参加促進策について	週1回以上運動をしている人の割合を調査したところ、30代女性は27.3%であり、他の年代の女性や男性と比べてとても低く、市の目標値の65%に程遠い状況が分かりました。「運動したいけどジムに通うのは抵抗がある」「忙しくてなかなか運動できない」若い女性の運動・スポーツ参加促進の方策を提案してください。	生涯学習・スポーツ課 スポーツ推進係	51-6637
26	救急車の適正利用について	救急出動件数は年々増加しています。その一方で出動件数（R2年2,942件）の約4割が入院を必要としない軽症の患者です。射水市消防は5台の救急車で運用していますが、出動件数が多くなると緊急性の高い患者への到着時間が遅くなる場合があります。タクシー代替りの救急車の利用をやめてもらうには、どうすればよいか提案してください。	消防本部 防災課 防災係	56-9483
27	消防団員の担い手不足解消について	本市では、現在688名の消防団員が災害現場活動や火災予防活動で活躍しており、地域防災の要となっています。近年、大規模な自然災害等が全国で頻発し、地域防災力の向上が求められている中、有事の際に活動していただく消防団員数が減少しており、地域における防災体制の中核的存在である消防団員の確保に苦慮しているのが現状です。 地域防災力充実強化のため、どうすれば若い世代の方に消防団活動に興味を持ってもらい、入団につなげる事ができるでしょうか提案してください。	消防本部 総務課 消防団係	56-9483

各課題についての詳細な資料等は必要に応じて担当課から提供します。

市役所に直接問合せにお越しになる場合は、事前に担当課へ電話又は電子メールで連絡してください。